



令和5年度

10月号

# 道場小だより

## 目標をもつ

校長 大前和隆

最近朝晩もめっきり涼しくなり、日中に吹く風もさわやかさを感じるようになりました。ようやく酷暑・猛暑と言われた夏が終わり、秋の気配を感じる頃となりました。この時期になると、田んぼのあぜに真っ赤なヒガンバナが咲いたり、稲穂の上をアキアカネが群れをなして飛んでいたりする風景を見るとなぜかほっとします。異常気象と言われてはいますが、毎年変わらぬ風景がそこにあるという安心感があります。

先日、5年生が自然学校に行きました。「仲間を味わう」「自然を味わう」ことが存分にできた2泊3日でした。初日の登山は実にハードでしたが、仲間同士で励まし合い、全員が鉢伏山頂にたどり着きました。絶景の中で食べたお弁当は格別でした。下山途中で土砂降りという大雨の洗礼を受けましたが、この雨をものともせず、楽しそうに下山していく5年生を見ると、この自然学校がとてより良いものになると予感できました。自然学校で起こるすべてのことをチャンスととらえ、自分を乗り越えるためにチャレンジをし、そして、その結果、自身の心が成長する・まさにチェンジをすることができました。このチャンス、チャレンジ、チェンジは5年生の学年目標となっています。また、自然学校では「たいせつ5」（たすけあい いつも 成長するために つながろう 5【友達を 自然を 時間を 心身を 言葉を】）を合言葉に頑張ってきました。

さて、今シーズンプロ野球ではセリーグでは阪神タイガースがリーグ優勝、パリーグではオリックスバファローズがリーグ優勝し、クライマックスシリーズ次第では、関西ダービーが実現する可能性があります。阪神タイガースは実に18年ぶりの優勝ですが、9月はあれよあれよというまに勝利を重ね、一気に優勝を果たしました。岡田監督の「アレを目指す」がチームに浸透し、メディアでも常に「アレ」という言葉が取り上げられていました。「アレ」を調べてみると次のような意味があるそうです。

### 【ARE】

Aim	個人・チームとしての明確な目標をもつ
Respect	野球というスポーツや諸先輩方に対しての敬いの気持ちをもつ
Empower	個々がさらにパワーアップする

「アレ」というキャッチーな言葉に大切な意味が込められ、選手全員がそれを意識してシンプルに戦った結果が優勝だったのではと思います。この言葉の意味を探ると、野球に限らず、学校生活をしていく上で重要なことがあると感じています。本校の学校目標にも重なりますが、ともに学び合う中でお互いを「認め合う」「尊重する」ということはとても大切で、その土壌がある中で共通した目標を達成するための強い意志が生まれてくるのだと思います。また、人によりかかって頼るばかりではなく、自分自身も殻を破るためにチャレンジするという勇気や努力が必要です。「学び続ける人」として主体的にかかわる土台として「自立と自律」は、これからの混沌とした社会を生き抜くために必須の力ではないかと思います。

個々に力をつけていくために、本校でも学校目標を中心に各学年がそれぞれの実態にあった目標を設定し、取り組みをすすめています。学校生活は自分の思い通りにならないことも多々あります。学習そのものもそうですし、人とのかわりもそうです。その環境をチャンスととらえるのか、そうでないのかは非常に大きな分かれ目となると思います。「しなやかに」どんな状況においても前向きにチャレンジできるそんな力をつけていきたいと思います。そこでできる我々大人の役割は、「そっと背中を押す」ことではないかと思います。我々大人も「アレ」を目指し、子供を成長させるために「ともに、創る」ことができればと思います。今後ともご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。